

## 核兵器のない世界と朝鮮半島非核化を実現するための 取り組みを求める意見書

去る9月9日、日本時間午前9時30分ごろ、北朝鮮は5度目の核実験を強行した。

この暴挙は、核兵器廃絶を願う国際世論と被爆国日本の国民の願いに背く、国際社会への重大な挑戦であり、核実験中止を求めた国連の一連の決議に反するものである。

とりわけ、ヒロシマは、本年5月のオバマ米大統領の訪問を受け、核兵器廃絶に向けたメッセージを世界に発信した直後であり、国際世論の高まりに期待を寄せていたところでもある。

北朝鮮が、国際社会の一員であろうとするなら、安保理決議をただちに受け入れ、一切の核とミサイル開発を即時中止し、朝鮮半島非核化のために誠実に努力すべきである。

当市議会も、非核宣言自治体の議会として核兵器廃絶に向けた多様な市民運動に協働しており、事態を深く憂慮している。

このような状況を踏まえ、日米韓中露及び北朝鮮が参加する6カ国協議の再開と問題の平和的解決、そして、朝鮮半島の非核化のため、関係各国が努力することを強く求めるものである。特に、日本政府には、被爆国として核兵器の全面禁止を目指す提案を国際社会に積極的に行い、核兵器のない世界の実現のため、先頭に立たれるよう、強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

平成28年9月20日

広島県庄原市議会